

特別講演会 事業性評価とモニタリングの成功事例

株式会社マネジメントパートナーズ

10月4日、ウイנקあいち（名古屋市中村区）において、株式会社マネジメントパートナーズ（東京都港区）が主催する特別講演会「事業性評価とモニタリングの成功事例」金融機関と専門家連携による中小企業支援の可能性を探る」が開催された。会計事務所と主に融資に携わっている地域金融機関の職員を対象としており、参加者は約30名。

マネジメントパートナーズは、東京と大阪に拠点を持ち、企業経営支援、事業再生支援、M&A支援、会計事務所のM&S支援やセミナー・講演等の企画・運営などを行い、日本の企業の大部分を占める中小企業を支援する企業である。

さらに、同社では、地域における会計事務所と金融機関の連携を図り、地域の中小企業を再生することを目指している。今回の講演会はその想いの実現のため、中核都市において会計事務所と地域金融機関による地域連携型の勉強会を開催するに至った。

今回の講師は、金融庁 監督局 銀行第二課 地域金融企画室長兼 地域



金融生産性向上支援室長の曰下智晴氏。曰下氏は地域金融機関の事業性評価を推進する実務責任者であり、「ベストセラー」『捨てる銀行』（講談社現代新書／橋本卓典著）にて大きく取り上げられた金融行政の改革者として知られている。今回の講演は、金融機関と専門家連携の好事例を紹介しながら、今後の企業支援の可能性を探るテーマとなっている。

講演会当日は講演だけでなく、曰下氏への質疑応答と対話型セッションに重点が置かれ、参加者双方の活発な議論が交わされる実践的な学びの場となった。

曰下氏は、金融行政の遍歴、変化の説明から、今後企業との「共通価値の創造」に根差したモデルの必要性を示唆。経済の持続的成長と地域創生に貢献する在り方を、具体的な事例を扱いながら丁寧に紹介した。

現場で支援業務に携わっている参加者が、今後具体的にどう動けば、より企業の生産性向上につながる支援を実現できるのかを考えるヒントを持ち帰られる内容となった。

講演会のまとめでは、マネジメントパートナーズ代表取締役社長の酒井篤司氏が、同社の目指す「三者共通価値の創造」の実現を参加者に向けて紹介した。今後会計事務所と金融機関が連携した支援業務のサポ

ーターとして共に企業支援に取り組む、ひいては地域活性化に寄与していくことを伝えた。

終了後は懇親会が開催され、参加者が交流を深める機会となった。

次回の講演会は、2019年12月6日に福岡、2020年2月12日に仙台において開催される予定となっている。

